

観点別評価例

		評価の観点及びその趣旨			
		〈知識・技能〉 ・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している	〈思考・判断・表現〉 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて独自の表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている	〈主体的に学習に取り組む態度〉 音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	
題材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	記 録 欄	月
リズムや音高に注意して、楽譜を読もう	知識：曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 技能：創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している。		音色、リズム、速度、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。	リズムや音高を正確に捉え、音楽用語や記号に関心をもち、主体的・協働的に歌唱や器楽の学習活動に取り組もうとしている。	4 5 6 7
日本語の歌曲を歌おう	知識：曲想と音楽の構造や歌詞との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 技能：創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。	日本語の発音の特徴や美しさ、言葉のおもしろさに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	2
ギターで名曲を弾こう	知識：曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果について理解している。 技能：創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。	ギターで旋律や伴奏を演奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	8
日本各地の民俗芸能を知ろう	知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。	各地域の信仰や風俗、習慣と結び付いた日本各地の民俗芸能に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	4
文化的・歴史的背景を理解して、世界のさまざまな音楽を聴こう	知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、とともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	異なった文化的背景、多様な価値感や美意識をもつ世界のさまざまな音楽に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	4
イタリア語で表情を付けて歌おう	知識：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 技能：創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。	イタリア語の歌詞に表情を付けて歌うために、イタリア語の発音の特徴を捉え、歌詞の内容を理解してそれにふさわしい表現を工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	4
二部合唱や四部合唱で美しい響きをつくろう	知識：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 技能：創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。	全てのパートが協調した美しいハーモニーの合唱に関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	9 10 11 12
音色やエフェクトを工夫して、ゲーム・ミュージックを合奏しよう	知識：曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による固有性や多様性について理解している。 技能：創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。		音色、リズム、速度、旋律、強弱、テクスチャ、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。	各パートにふさわしい音色やエフェクトをキーボードで選び、組み合わせを考えて合奏することに関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	4
フランス語で表情を付けて歌おう	知識：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解している。 技能：創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。	フランス語の歌詞に表情を付けて歌うために、フランス語の発音の特徴を捉え、歌詞の内容を理解してそれにふさわしい表現を工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	4
サウンド・シグナルをつくろう	知識：音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 技能：創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表している。		音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。	音楽の特徴とイメージとの関わりを理解し、メッセージ性に富んだ短い音楽をつくることに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	2
平家に親しもう	知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、我が国の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解を深めている。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、とともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	古代から近世にかけての日本音楽史において、琵琶や琵琶法師が果たした役割を学ぶとともに、平家の語り方をまねることを通して、その特徴である中音や口説という曲節に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている	4
ベートーヴェンのピアノ・ソナタ第 14 番 《月光》を鑑賞しよう	知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、とともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	テクスチャや低音の動きと和音進行との関係が作品に与える効果に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	4
篠笛を吹こう	知識：曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による固有性や多様性について理解している。 技能：創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して演奏する技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付け、器楽で表している。		音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。	日本の伝統楽器である篠笛に関心をもち、主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	1 2 3
曲の雰囲気を感じて、英語で合唱をしよう	知識：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解を深めている。 技能：創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて独自の表現意図をもっている。	曲の雰囲気合った合唱や伴奏付けに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	4
ドイツ語で表情を付けて歌おう	知識：曲想と音楽の構造や歌詞、文化的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、言葉の特性と曲種に応じた発声との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果、様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性について理解を深めている。 技能：創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能、他者との調和を意識して歌う技能、表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付け、歌唱で表している。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて独自の表現意図をもっている。	ドイツ語の歌詞に表情を付けて歌うために、ドイツ語の発音の特徴を捉え、歌詞の内容を理解してそれにふさわしい表現を工夫することに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	4
《白鳥の湖》と《春の祭典》を鑑賞し、バレエ音楽の魅力を味わおう	知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。		音色、リズム、速度、旋律、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、とともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	ロマン派と現代の音楽の表現の違いに関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	2
循環コードを使って音楽をつくろう	知識：音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 技能：創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能、旋律をつくったり、つくった旋律に副次的な旋律や和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け、創作で表している。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて独自の表現意図をもっている。	コード進行のパターンを土台にメロディーをつくることに関心をもち、主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	6
ポピュラー音楽を知ろう	知識：曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わり、音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わりについて理解を深めている。		音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、とともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、自分や社会にとっての音楽の意味や価値、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴いている。	19世紀末以降のポピュラー音楽の歴史と技術の発展史に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	4